

第6地区（6小学区）協議体

“ほっこり六区”

”ほっこり六区“って何？

第6地区（12自治会）の地域を対象に古河市においても高齢化が進む中、「いつまでも住み慣れた地域で暮らすためには」ということをテーマに地域で出来ることを考える場・話し合える場として“ほっこり六区”が誕生しました。

“ほっこり六区”はお互いが助け合える・見守り合える温かい
“ほっこり”した地域したいという意味で名づけられました。

“ほっこり六区”で何をしているの？

“ほっこり六区”では第6地区（11自治会）の自治会長や民生委員、ふれあいいきいきサロン代表者が集まって地域の課題・解決策を話し合っています。今年度は「ふれあいいきいきサロンが活発な第6地区でもっともっとふれあいいきいきサロンを増やしていこう！」というテーマで話し合っています。

令和5年度第3回ほっこり六区の活動内容！ （令和5年10月24日（火））

①第6地区コミュニティ防災訓練活動報告

②各自治会の動き（7月～9月）

主な意見（各自治会の意見抜粋）

- ・サロンに対するニーズ調査を行った。自治会の中にサロンへのフォローができる役割を配置することを検討している。
- ・子ども会の活動を支援するため、小学生以下の子どもに500円程度のお菓子を配った自治会もある。
- ・自治会の消火器点検や家庭への消火器設置の推進として、回覧を回した。
- ・夏祭りを行い、神輿や屋台を出し、多くの方々から盛況であった。
- ・近年夏の気温が高くなっているため、夏祭りは日中ではなく、夕方からの実施も検討していきたい。
- ・コロナをやらない理由にせずに行えることから工夫して行っていきたい。

